

テーマ：防災意識の高揚 対象：地域住民 主催：佐方アイラブ自治会

F-⑦ キキカン（聞き官）

子供の居場所としての活用		住民相互の学び合い・交流	○	関連施設・施策や民間企業等の連携	○
--------------	--	--------------	---	------------------	---

1 学習プログラムの展開（令和6年度）

日 程	場 所	学 習 ・ 活 動 内 容
令和6年8月9日 (金)	廿日市警察署	○警察の役割の理解 危機管理監等から話を伺い、県警本部及び地元警察署の動きについて理解を深める。また、日常の治安維持活動についての説明を通して、危機管理における警察署の役割について学ぶ。
令和6年8月24日 (土)	廿日市市議会	○市議会の仕組みの理解 こども議会を傍聴し、議会の仕組みを学ぶ。
令和6年9月29日 (日)	廿日市市役所 危機管理課	○市の危機管理体制の理解 市の危機管理の中核がどのように機能しているのかを知り、私たちの暮らしがどのように守られているのかについて理解する。
令和6年11月30日 (土)	廿日市市消防	○消防の役割の理解 救助隊員等から話を伺い、廿日市市消防の動きについて理解を深める。また、日々の訓練活動についての説明を通して、危機管理における消防の役割について学ぶ。
令和6年12月15日 (日)	陸上自衛隊 海田市駐屯地	○災害支援活動の理解 各隊員が担う役割に基づき、災害現場の最前線で行われる支援活動について話を伺い、危機管理に関する理解を深める。
令和7年3月16日 (日)	廿日市市 佐方市民センター	○スペシャリスト座談会 警察、消防、自衛隊など各機関の役割を改めて共有するとともに、各機関の特徴的な活動や現場で働く職員が直面する困難について理解を深める。また、自助と共助の重要性について共有する。



対 象	地域住民（大人 122 人、子供 114 人）
経 費	70,000 円
連携先	小・中学校、高校、行政機関、警察署、消防署、陸上自衛隊
問合せ先	廿日市市佐方市民センター 〒738-0001 廿日市市佐方1丁目4番28号 電話：0829-32-5049 ファクシミリ：0829-32-5073

2 学習目的

危機管理のスペシャリストが働く現場において、「見て」「聞いて」「感じて」という体験的な学習を通じて、大規模災害発生時に各専門機関がどのように動くのかを理解する。また、災害時には全ての人を直ちに救助することが難しい状況があることを学ぶ。

3 学習目標（学習目的の達成に向けて、身に付ける力）

災害時において、自分たちが何を考えて何をしなければならないか、そして今出来ることが何かを考えて行動できるようになる。

4 事前に必要な知識や準備物

- 関係機関との連携
- バスの手配（陸上自衛隊海田駐屯地）

5 留意点

- 事業の目的等について関係団体と共有する。
- 現地では、参加者の安全管理に配慮する。
- 広報の方法や範囲、期間については、会場の収容人数を考慮して実施する。

6 成 果

- 大規模災害発生時に各機関がどのような役割を担うのか、改めて学ぶことができた。
- 各機関が、具体的にどのような活動をしているのか、その特徴を学ぶことができた。
- 自助と共助の重要性を考える機会となり、将来想定される大規模災害への備えにつながった。

7 課 題

- 今後は、更に多様な団体についても連携が必要。
- 「支え手」を支える「受け手」の可能性を探る。

8 学びの成果を事業後に生かすための工夫

- 事業のブラッシュアップを行い、2年目のキキカン（聞き感）につなげる。